

案件名「御殿場市第 2 期 SDGs 未来都市計画」(素案)

「御殿場市第 2 期 SDGs 未来都市計画」(素案) に対し、ご意見をいただきありがとうございました。
提出された意見の内容(概要)及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	2 人	
2	提出された意見の数	14 件	
3	意見の反映状況		
①	反映した意見	4 件	
②	既に盛り込み済みの意見	0 件	
③	今後参考とする意見	4 件	
④	反映できない意見	1 件	
⑤	その他（質問等）	5 件	
4	意見の反映状況一覧		
No	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	御殿場市では現在、人手不足となっており、アルバイトの時給は都会並みの高水準となっている。こういった中「様々な業種の雇用を創出する」という記述に違和感を覚える。	本市の産業は、多種多様な業種により形成されており、今後もまちの発展を推進するためには「様々な業種の雇用を創出する」ことが必要であると考える。	④
2	子どもたちに「御殿場の魅力ある産業・業種を知って」もらおうとあるが、具体的に何があるのか示すことは、市内公立高校が整理統合される中、喫緊の課題である。	将来を担う若者に本市の産業・企業を含む御殿場の魅力を知ってもらうことは非常に重要である。現在も若者を含む幅広い世代を対象とした合同企業ガイダンスや市内高校による市内企業と連携したフィールドワーク、若者人材育成を目的とした「GOTEMBA MIRAI PROJECT」など、若者と社会（企業）とのつながりを意識した取組を実施しており、今後も様々な取組を実施していく。	⑤
3	外部から移住する人を増やし御殿場で育った子どもが御殿場に住み続けるためには、御殿場の魅力や特徴を知ってもらうことが必要である。「御殿場に住みたい」と思った人が「仕事はあるから御殿場に住める」となるのであり、人手不足によって雇	御殿場市では SNS やホームページ、広報誌等で市内外へ市の魅力を広く発信している。また、本年度 4 月より市役所 1 階に「移住定住総合案内窓口」を設置し、移住定住に係る各種情報を幅広く提供している。特に、御殿場市に住むことを具	③

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
	用があるから御殿場に住む人が増えるわけではないのではないか。	体的に考え始めた方々が、生活のイメージを掴みやすいような情報提供を努めている。指摘の通り、雇用の確保については「雇用があるから住める」という単純な構図ではなく、複数の施策を総合的に推進することが不可欠である。現在、御殿場市では移住者の就業に関する奨励金・補助金を設け、移住定住の促進を行っているが、いただいた意見を踏まえ、今後の参考とさせていただく。	
4	「指標：市全体の温室効果ガス排出量削減率（2013 年比）」では 2022 年▲9.5%から 2030 年▲46.0%と大胆な変動のある数値目標を掲げているが、どのような達成見通しを想定しているのか示す必要があるのではないか。	2030 年▲46.0%という数値目標は、国の「地球温暖化対策計画」及び、現在改定作業を行っている第三次御殿場市環境基本計画においても同目標を掲げている。再生可能エネルギーなどの利用促進による温室効果ガス排出の抑制に加え、J-クレジットや木育等の取組による温室効果ガス吸収量を増加させることで、目標達成に努めるとともに、第三次御殿場市環境基本計画により進捗を管理していく。	⑤
5	交通の便の他、富士山麓に位置していることを誘致の材料としているが、このような根拠で市の望む企業が進出するのかについて、検証を行うべきではないか。	新東名高速道路の新御殿場 IC 以東の開通を控え、より一層の交通アクセス向上が見込まれる中、本市の立地の良さについては、実際に企業から良く聞くキーワードである。また、富士山を有することで得られる豊かな自然環境やそこから生まれる資源は、他にはない本市の強みであり、本市の「富士山ブランド」は、進出企業にとって魅力あるものであると認識している。	⑤
6	「奥深き御殿場」について、具体的な説明を行う必要があるのではないか。	「奥深き御殿場」というキャッチコピーには、何度も訪れたくなる御殿場の魅力を表現している。富士山や箱根外輪山等に囲まれた豊かな自然環境、そしてその恵みである水や食に加え、歴史文化など一度訪れただけでは味わい尽くせない“深み”があるという意味を込めるとと	⑤

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		もに、訪れるたびに新しい魅力や発見し、素晴らしい体験をすることができ「多面的で深みのある魅力を持っているまち」であることを伝えている。	
7	「御殿場型経済」という市独自の造語の説明を市民に行う必要がある。また、2027年度としている新東名高速道路の新御殿場・新秦野間開通後に、利用者が激減すると想定される東名高速道路御殿場 IC 第二出入口（東京方面）の近傍に、市税を使って数十億円規模のハコモノを建設することによる市の収支におけるメリットを市民に説明する機会を設けてもらいたい。	これまで、市民や観光客、市内外の企業・団体へのアンケート等を実施し、基本構想を策定、令和7年度からは基本計画の策定を進めていく上で、施設整備に向けたワークショップの開催や施設計画の進捗状況を広報誌やSNSを活用して情報発信する等、市民に対し、より分かりやすく情報を提供するとともに、市民意見の聴取に努める。	③
8	2025 年日本国際博覧会（2025 年大阪・関西万博）の記述について、「2025 年日本国際博覧会（2025 年大阪・関西万博）の「いのちをつむぐ（EARTH MART）」パビリオンが茅葺きとなり、本市の茅刈り職人が本市内で刈り取った茅がパビリオンに一部使用される等、外部による評価が高まっているところである。」に修正した方がより正確であると考えます。	指摘を踏まえ修正する。	①
9	本市には博物館や郷土資料館的な施設が無い中で、あえてメッセ型とする根拠の説明がなされていない。また、運営の採算性からメッセ型施設が有効であるとするがその根拠も示されていない。	令和5年度に実施した「御殿場市科学技術博物館及び防衛技術博物館整備構想に係る基本調査」、令和6年度に実施した「御殿場市メッセ型展示施設整備構想に係る基本調査業務」の結果を把握・整理・分析した上で、将来、本市の発展に大きく貢献する施設として、メッセ型の多目的展示施設の整備を検討している。今後、具体的な整備構想を検討していく上で、より丁寧な説明に努める。	③
10	建設場所や御殿場市が発信できる「防衛技術」とは何かを明らかにすべきではないか。	本市の地域特性や歴史的背景を生かし、東富士演習場の歴史や文化を学び、自衛隊との交流やサポートをはじめ、機械産業遺産の保存や展示を通して、次世代に平和や安全への意識敬称を促す施設として整備を検討している。今後、具体的な	③

№	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		整備構想を検討していく上で、建設場所や各定義を明確にしていくとともに、より丁寧な説明に努める。	
11	「「富士山エコパーク」の発生熱による発電力を令和 3 年から本市の小中学校等公共施設で利用を開始している」にある「発電力」とは運動エネルギーのことであるため、「電気」に修正した方がより正確であるとする。	指摘を踏まえ修正する。	①
12	「本市は、市域の半分以上の森林面積を有しており、森林は本市らしいまちづくりに必要な大きな資源として有効活用していく必要がある。」の記述について、日本語の記述がおかしいので、修正が必要である。	指摘を踏まえ修正する。	①
13	歴史的に御殿場市の現況の森林は、戦後植林したものが育ったところが殆どであって、それが現在伐り時となって市内各所で伐採が行われており、再度植林されているものではないのではないか。「木育」について、人に対するものだけでなく「木」を植え育てる市の事業も実施してもらいたい。既に市内で行われているのであれば紹介してもらいたい。	市内の森林は、御殿場市森林整備計画を指針として、伐採の時期を迎えた森林については伐採後、状況に応じて植林し育てており、計画的に森林整備を進めている。意見をいただいた乙女峠、国道 138 号沿いの森林は、国有林であるが、国が伐採後樹種転換事業を実施することによって、計画的に森林整備を行っている。市内で木を植え育てる事業の一例としては、原里地区や高根地区において、小学生の植栽体験事業等を実施している。	⑤
14	本素案を読んで図書館の図の字が見当たらないのに違和感を覚える。海外では、公共図書館を教育、民主主義、持続可能な暮らしを支える重要な基盤ととらえられているが、本市の新図書館の機能はどのようなものか。	指摘を踏まえ、図書館の記述を追加する。また、本市の図書館は、市民の生涯に渡り「富士山のように大きな心を持った人」への成長と学びを支え、郷土愛を育むとともに、歴史や文化を未来に繋ぐ施設であると考えており、まちづくりを支える情報拠点として多くの市民の学びを支え、市民の活動を支援している。現在整備している新図書館では、情報を束ねる場として資料の充実を図り、市民の課題解決を支援するサービスを充実させ、自ら課題解決できる市民を育む機能を強化するとともに、人の繋がりと成長	①

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		を育む拠点としていくための展示や活動のための場を確保・整備し、図書を通じた人々の交流や、幅広い世代への居心地の良い居場所の提供を図っていく。	
5	意思決定後の策定案の内容	(資料添付)	
6	意見の公表先	市ホームページ	

担当課	御殿場市 企画戦略部 未来プロジェクト課 TEL : 0550-82-4349 FAX : 0550-84-1661 メールアドレス : mirai@city.gotemba.lg.jp
-----	---